

# MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2018年4月★第125号

## 森を探検！「さらに森に行きたくなる！親子の森遊びin向山こども園」

日時：3月3日（土）10：30～14：10  
場所：認定 向山こども園  
（仙台市太白区八木山緑町21-10）  
講師：宮城県自然保護課、向山こども園、  
野遊びコンシェルジュ半澤夏実さん、  
特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹、  
エコ・森林（宮城県地球温暖化防止活動推進員グループ）  
参加者：32名

毎年春と秋に2回開催している「森で遊ぼう！」。毎回キャンセル待ちが出る人気講座です。今回は初めて、向山こども園の園庭や隣接する市有林を解放してもらい開催しました。

生き物のクイズや竹笛作り、薪割りなど、初めての体験に歓声をあげながら楽しんでいました。昼食には、災害時にも役立つ「サバイバルめし」を全員で作りました。

おなががいっぱいになった後は、森を探検！普段は向山こども園でも解放していない場所で、大きなモミの木や、顔より大きいヤツデの葉も楽しい遊び道具となりました。初めて森の中で遊ぶ参加者もあり、親子が一緒になって森で遊ぶことは今まで以上に貴重だと感じた講座でした。



竹笛、上手に吹けるかな？



薪、われるかな？



この木は、何才かな？



この生き物の名前、知ってる？

**MELONとは** 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

### MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。  
MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
  - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
  - ボランティアや部会に参加することでボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
  - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
  - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

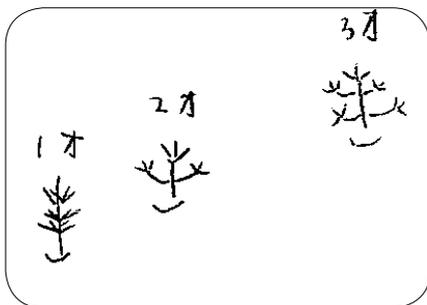
### Index

- P1 森を探検！「さらに森に行きたくなる！親子の森遊びin向山こども園」
- P2 ミッション！「同じ年のモミの木を探せ！！」～親子の森遊びin向山こども園～  
／水を分ける神さまを訪ねて～水の神さま調査～  
仙臺農塾 Vol.6 大人の食育プロジェクト
- P3 MELONcafe プチ講座
- P4 会員団体訪問記 学生がゆく！  
／かんきょう見聞記「海道で竹細工か」
- P5 協同組合からのお知らせ  
／目指せ100人！環境リレートーク 石塚武夫さん
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7 ストップ温暖化センターみやぎ通信  
／「ゴミのリサイクルと減量化 ～分別回収の意義～」
- P8 トピックスノイベント一覧／編集後記

## ミッション！「同い年のモミの木を探せ！！」 ～親子の森遊び in 向山こども園～

森遊びでは、野遊びコンシェルジュの半澤夏実さんより子どもたちに課題が出されました。内容は「同い年のモミの木」を探すことです。半澤さんが、子どもたちにモミの木の樹齢の見方をイラストで書いて説明してくれました。子どもたちは、一生懸命同い年のモミの木がないか探して半澤さんに正解を教えてもらっていました。

MELONでは、楽しく森遊びをしてもらえるよう『森に遊びに行こう！森遊びブック』を作成しました。これ



モミの木の年齢の見方を子どもたちがアンケートに書いてくれました！

からは花の季節。「森の中にある色々な植物の香りをかぐ」遊びもおすすめです！遊び方は、①森にある花や植物の葉、茎、ツルを集めます。②集めたら、においをかいで言葉で

伝えます。「良いにおい？変なおい？あまいにおい？」③水分の多い植物は自宅で花瓶に入れて楽しみましょう。④水分が少なく小さい植物は本に挟んで「押し花」を作ってみましょう。3～4日経ってピンと乾燥していれば完成です♪



森の中を楽しく散歩♪

家族や友達と、森でたくさんの植物と遊んでみませんか？

みやぎ里山応援団のページ

<http://www.melon.or.jp/melon/satoyamaouen.html>

→『森に遊びに行こう！森遊びブック』小冊子PDF

※植物によってはかぶれたり、場所によっては植物を採集することが禁止されている場所もあるので注意しましょう。

## 水を分ける神さまを訪ねて～水の神さま調査～

日程：3月4日（日）

調査先：①水分神社（白石市福岡八宮）

②刈田嶺神社・里宮（刈田郡蔵王町遠刈田温泉仲町）

水部会メンバーで2つの神社に足を運び、水の神さま調査を行いました。地域としては蔵王連峰の七ヶ宿町を水源とする白石川の流域です。最初に訪問した水分神社は名前が示す通り、水の分配を司る神社です。この地区

は水で困ったことがないため、地元の人から信仰を集めています。雪解けが始まり4月中頃には蔵王連峰の残雪の一部が杖をつく老婆に似た形になります。昔はこれを「水引入道」と呼び、種撒きのサインとしていました。その姿が神社からきれいに見えるそうです。

次の調査先は刈田嶺神社です。刈田嶺神社は遠刈田温泉にある里宮と、蔵王の刈田岳山頂にある奥宮とがあります。積雪が深く山頂のお社に参詣することができない冬の間はご神体を里宮に遷座し、参詣の便宜を図って

いるそうです。春、奥宮への遷座は蔵王エコーラインの開通に合わせて行われます。この神社も水分神<sup>みくまり</sup>を祀っています。

天候にも恵まれ、お話しをじっくり聞くことができ大変充実した調査でした。

※水分神とは流水の疎通分配をつかさどる神。クマリ(配り)は、水を分配するという意味です。



「水分神社」地元の方から地名の由来となった8つの宮の説明を受けました



「刈田嶺神社」宮司より神社の里宮と奥宮の説明を丁寧に受けました

# 仙臺農塾

## 大人の食育プロジェクト

第3回「宮城の海から発信！ホヤホヤなホヤ話」

日時：2月14日（水）19：00～21：00

場所：にほんしゅ屋 シマウマ酒店nico  
（青葉区中央2-11-22 第5太田ビル1F）

ゲスト：渥美貴幸さん

（一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンのホヤ漁師）

参加者数：25名



ホヤを愛する気持ちは人一倍の渥美さん

ホヤ料理というと、酢の物のイメージがありませんか？旬は夏ですが、蒸しホヤや冷凍ホヤもあり、通年食べられる食材です。農塾第3回目は、石巻でホヤ漁師をしている渥美さんをゲストに、旬で

はない時期のホヤを思いっきり満喫しました。

ホヤは「貝」ではなく、「尾索動物」に分類され、人間などの脊椎動物に近いグループ。5つの味覚「甘み、塩み、酸み、苦み、うまみ」を兼ねそなえた珍しい食材

で、認知症に効果があると言われているプラズマローゲンも含まれている美容と健康に良い食材だそうです。

そんなホヤの生産量は宮城県が日本一。しかし、2011年の大震災によりホヤは壊滅状態。育つのに約3年かかるホヤをようやく出荷できるようになっても、最大の輸出国だった韓国の禁輸措置が続いている状態です。

しかも廃棄すると補償金がもらえるため、廃棄されることも多いとのこと。その中で渥美さんは廃棄することなく、大切に育てたホヤを販売し、さらに国内での新たな販路開拓を模索しています。

渥美さんは漁師の家で育ったわけではなく、漁師に魅せられ、ゼロから漁師になったチャレンジャー。震災の苦勞を微塵も感じさせず、明るくホヤの魅力について語る姿が印象的でした。私たちもホヤを購入したり、ホヤ料理を食べることで応援していきたいです。



風船で作った「ホヤ」で参加者を楽しませてくれました！



## MELONcafe

「米粉で簡単♪桜もち&イチゴ大福作り」

■日時：2月24日（土）13：30～14：30

■場所：フォレスト仙台5階501集会室

■参加者：9名

「MELONをcafeのように気軽に来られる場所にしたい」「環境に興味・関心のある方が気軽に集い、語り合える場を作りたい」そんな思いから誕生したMELONcafeプチ講座。2月はひな祭りに向け、米粉で桜もちとイチゴ大福を作りました。材料は国内産のものを使用し、「地産地消」を心がけましょうと呼びかけました。小さな子どもにもわかりやすいよう、トラッ



巨理町のイチゴを使って、イチゴ大福を作りました♪

クや日本地図、イチゴのイラストで説明をしました。お話の後は桜もちとイチゴ大福作り。子どもたちもあんこを丸める作業を楽しんでいました。

また「出張MELONcafe」では、地元の食材を使用した保温調理講座を実施しました。牡蠣が特産の東松島市にある宮戸市民センター等4箇所で行いました。メニューは「オイスターチャウダー」「牡蠣の潮風パスタ」。

保温調理は、コンロで熱を加えた鍋を新聞紙とバスタオルに包み、余熱を利用することで、弱火で煮込んだような仕上がりに調理することができます。火にかける時間が少なく済み、二酸化炭素の削減に！魚介類は縮みにくく、プリッと仕上がります。詳しいレシピは、WEBサイトに掲載していますのでぜひ作ってみませんか？



宮戸島の牡蠣でスープとパスタ。おいしかった～♪



石巻の牡蠣と雄勝のムール貝で美味フィヤベース♪

## 会員団体訪問記 学生がゆく！「<sup>とも</sup>一緒に～心に寄りそう家づくり～」

日 程：11月24日（金）

取材先：たけゆきの家 有限会社高橋建設 2級建築士事務所  
（大崎市鹿島台木間塚字西浦21）

取材対応者：高橋信明さん



手掛けてきた住宅の写真を見ながら、当時の様子をイキイキと語ってくれました

情報センターでは、MELON会員である企業や団体が行っている環境に関する取り組みを学生と一緒に取材し、WEBサイト等で情報発信しています。

高橋さんが大切にしていることは、「本物」を提供すること。人と環境に優しい自然塗料、壁材を導入しています。また、建替え、リフォーム時に使わなくなった柱、梁をお皿などに加工して新しいものを生み出す「再生プロジェクト」を行っています。「新しく生まれ変わった木の皿や工芸品を、新居でも使ってほしい。」お客様

一人ひとりに寄りそい、親身になって設計を手掛けている高橋さんのお話、学生も熱心に聞き入っていました。

取材活動してくれた学生は、尚絅学院大学の環境活動サークルFROGS所属。建築分野に就職・進学予定のため、取材活動未経験でしたが3名ともやる気は十分！全員で事前の下調べや質問事項を準備して臨み、当日は挨拶や名刺の渡し方など1年生の面倒を先輩がみていて、とてもチームワークが良かったです。建築分野を目指す学生にとって、有意義な時間を持てたのではないのでしょうか。取材記事はWEBサイトにアップしています。ぜひご覧ください！



教育熱心で親しみやすいお人柄の高橋さんの胸をお借りして楽しく取材できました！

情報センターのページ<http://www.melon.or.jp/melon/zyouhousenta.html>

→「MELON会員団体訪問記はこちら」

→第5弾「たけゆきの家 有限会社高橋建設 2級建築士事務所」をクリック



### 北海道で竹細工か

落語篇⑧

桂 歌丸  
「竹の水仙」

石垣政裕（MELON理事）

名工 <sup>ひだりじん ころろ</sup>左甚五郎のお話は、講談や浪曲、落語で多く語られています。伊達の城下に現れる甚五郎が語った落語の『<sup>ねずみ</sup>鼠』。藤沢宿に逗留したという『<sup>とうりゅう</sup>竹の水仙』。小田原宿を舞台にした『<sup>ぬけすずめ</sup>抜け雀』。まだまだありますが、ほとんどが同じような筋立てです。それは「身なりの貧しい男が、いかにも大金を払う様なそぶり、大酒を飲んで長いこと宿屋に逗留する。そしていよいよとなってから一文無しと分かる。宿屋の主は驚くが、この男がこしらえたあるいは描いたものが、まるで生きてるように動き出し、宿屋は大金を手にする。」というものです。

今、闘病しながら高座を続けている桂歌丸の録音『竹の水仙』（朝日名人会ライブシリーズ6、桂歌丸2、ソニー・ミュージックレコーズ、2001年5月）を聞いてみましょう。宿に泊まっている男に不審を持ったおかみさんにせつつかれ、主が男に訊く。そして、男は一文無しと分かる。だが、宿賃の代わりに竹で水仙を作るといふ。その竹の水仙のつぼみに水をやると、なんと次の朝、花が咲くではありませんか。この水仙を見た肥後熊本の細川越中守が <sup>えっちゅうのかみ</sup>300両で買い求めます。

さて、温暖化が進むと竹の生育域が北海道の稚内まで北限が進むという研究結果が新聞に報道されていました（朝日新聞2017年10月18日）。日本の平均気温が18世紀半ばに比べて今世紀末までに4度上昇すれば、左甚五郎は稚内の宿に逗留するといった話ができあがるのでしょうか。竹で何をこしらえる話になるのでしょうか。

作り話にしても、今、原発ゼロを訴えている元首相の先祖がこの話に登場するのにもなにか面白いですね。

## 各協同組合からのお知らせ

MELONの協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

みんなで新しい森をつくろう！

「こ～ぷの森<sup>みつみねやま</sup>三峯山」植林体験会 参加者募集

クリ、オオヤマザクラなどの多種類の広葉樹の苗を植えます。親子での参加歓迎！  
希望者でブナの原生林升沢遊歩道を散策します。



日 時：5月12日（土）10：00～14：30

集合時間・場所：10：00旗坂キャンプ場駐車場（黒川郡大和町吉田字升沢）集合

持参物：昼食、飲料、お椀（汁物あり）、軍手、帽子、長靴、可能な方は穴を掘る道具（トグワ、スコップなど）  
参加費：無料

スケジュール：10：00集合・開会セレモニー → 10：30植林指導、作業 → 12：00昼食 → 13：00升沢遊歩道散策 → 14：30解散

申込方法：氏名、住所、電話番号を明記し下記までお申込みください。お連れの方は連記してください。

申込み先 みやぎ生協生活文化部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663 メール：sn.mkankyok@todock.jp

ホームページからお申込みできます <http://www.miyagi.coop/member/event/detail/1212/>



目指せ100人！

## 環境リレートーク



第68人目の執筆者  
石塚武夫さん  
(石塚養蜂園)

丸森町で養蜂業を営んでいます。私が養蜂を始めたのは、勢いでといいますか、蜂に魅了されて飼いはじめたわけではないのですが、何故か性に合っているのか、気がつけば蜂を飼いはじめてから20年以上も経っていました。

蜂を飼いはじめて面白いと思ったことは、自分には関係ないと思っていたその辺に咲いている目立たない花々が、蜂を飼う上でとても重要な場合があるということです。普通に見れば放棄されて、草も刈られず荒れてしまった土地だったとしても、蜂を飼っていることで価値があり、意味のある場所になることがあります。みんなが知らないその場所の価値を蜂と私だけが知ってる、そんなところが蜂を飼って

いて面白いと感じるところです。

たまに刺したりもしますが、そうだとするととても愛くるしい蜂たちです。しかし現在蜂たちの置かれている状況は良くはありません。田んぼや畑に毎年撒かれる殺虫剤のせいで私が飼っている蜂たちも少なく見積もっても、毎年数十万匹は死んでいます。

ということはもちろん蜂だけではなく、その何十倍、何百倍もの昆虫が死んでいっていることでしょう。

この問題は今のところ簡単に解決できる状況ではないのが残念です。今年も蜂と共に不安な夏を過ごさなければならないことになりそうです。

<連絡先>

〒981-2303 丸森町耕野字大高丸一番1-67

株式会社石塚養蜂園

HP：https://i-yohoen.jimdo.com/

mail：i\_yohoen@yahoo.co.jp

… 次号執筆者紹介 …

佐藤浩昭さん

(森の中の小さな古本屋スローバックス)



## ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.80

### 世界の動きを知り、身近なところからアクションを！ ～なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム開催～

日 時：1月14日（日）13：00～16：00  
会 場：「国際センター駅」2F 青葉の風テラス  
内 容：講演会、ブース出展、クイズラリー  
参加者：144名



満員の会場で熱心に聞き入る参加者

講演会は、久保田泉さん（国立環境研究所 社会環境システム研究センター 環境政策研究室 主任研究員）を講師に招き、「COP23報告会in仙台～地球温暖化対策に関する世

界・日本の動きと個人が取り組めること～」と題してお話いただきました。

2017年11月にドイツ・ボンで開催されたCOP23（気候変動枠組条約第23回締約国会議、議長国フィジー）。現地会議に参加した久保田さんから、COP23の成果の一つとして2018年に「タラノア対話」（促進的対話）の実施が合意されたことが報告されました。タラノア対話とは、世界全体の温室効果ガス排出削減の進捗状況の確認を意味し、各国がより高い削減目標を目指す機運を高めることをねらいとしています。「タラノア」とは、フィジーの言葉で「包括的、参加型、かつ透明性の高い」と

いう意味とのこと。

また、パリ協定脱退を表明した米国トランプ政権に対する米国の動きも紹介されました。米国内では、政府とは別に州や自治体、企業などの非国家主体（2500以上の機関が参加）が中心となり、パリ協定を支持し温暖化対策を進める「We are still in（我々はパリ協定に留まる）」という動きが起きて

いるとのこと。今回のイベントでは、県内の企業や学校、団体によるブース出展やクイズラリーも行い、私たちの暮らしに関わる身近な温暖化対策につ

いての紹介なども行いました。

イベントを通し参加者は知識を深め、具体的な対策について学ぶ機会となったのではないのでしょうか。



出展者と参加者の交流も活発に行われました

#### ブース出展団体（順不同）

仙台管区気象台、東北電力株式会社宮城支店、宮城教育大学 大気科学研究室、宮城県白石工業高等学校、東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議、みやぎ生活協同組合、宮城県地球温暖化防止活動推進員、ストップ温暖化センターみやぎ

※このイベントは、「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議（宮城県）主催により、MELONが運営団体となり開催しました。

### うちエコ診断 受診200件目標達成！！

昨年6月から2月までうちエコ診断士と共に南は丸森町、北は気仙沼と宮城県内各地を駆けまわり無事に目標件数を達成しました！1月末には閉上の災害公営住宅などで診断を実施。新しい環境で光熱費に悩んでいる方が多く、お得な使い方を診断



名取市閉上での診断の様子

士がアドバイスしました。

受診した方からは「エコを意識して生活していきたい」「機会があればまた受診したい！」など嬉しい感想もいただきました。

昨年度のうちエコ診断事業での二酸化炭素排出量の削減効果は約75t-CO<sub>2</sub>/年！！これはスギの木約5,400本が1年間に二酸化炭素を吸収する量に相当します。

うちエコ診断は今年度も実施する予定です。その際はWEBサイト等でお知らせいたしますのでお待ちください！

## 低炭素杯2018 被災地ならではの視点で低炭素社会を！

「低炭素杯」とは学校・非営利団体・企業自治体等が地球温暖化防止に取り組む活動を発表し、日本一を競う大会です。今回で開催8年目を迎え、皇居近くの日経ホールで2月15日（木）に開催されました。全国から1,167の応募があり、選び抜かれた30団体のファイナリストの中に宮城県からエントリーした2チームが残りました。「宮城県農業高等学校 科学部復興プロジェクトチーム」（以下、宮農）と「仙台市」です。

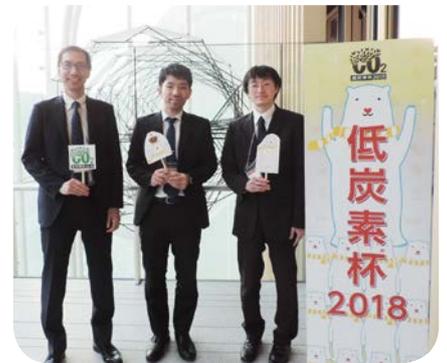


環境大臣賞を受賞した宮城県農業高等学校

宮農の活動は津波被災後に奇跡的に生き延びた桜を未来に残したいという思いから始まりました。プロジェクトは食物連鎖を利用して塩害土壌を肥沃な土に再生するというも

のです。被災地ならではの視点の活動が認められ、学生部門で環境大臣賞を受賞しました。

一方、仙台市は東日本大震災で市全域が停電し避難所運営が困難になった経験から、災害時でも電気が供給できる設備設置の取り組みを始めました。指定避難所に太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステムを導入するという取り組みで優秀賞を受けました。



優秀賞を受賞した仙台市

どちらの団体も被災地としての視点で取り組まれた活動であり、復興の一部です。被災県である私たちに勇気を与えてくれた取組みでもありました。

## MELON 環境市民講座

### 「ゴミのリサイクルと減量化 ～分別回収の意義～」

日時：12月23日（土・祝）12：00～14：00  
場所：せんだい環境学習館たまきさんサロン  
講師：村松淳司さん  
（MELON 理事、東北大学多元物質科学研究所教授）  
池端みなみさん、澤敦子さん  
（株式会社サイコー）  
参加者：12名

東北大学青葉山キャンパスにある「たまきさんサロン」で、環境市民講座を開催しました。

はじめにMELONの「エコシティ仙台プロデュースプロジェクト」のリーダーである村松理事からこのプロジェクトの概要をお話していただきました。このプロジェクトは、スタジアムなどにエコステーションを



身近な「マイバッグ・箸」から始めよう！！

設置し、ごみの分別・減量に向けた活動を行うなど、環境にやさしい街「エコシティ仙台」の実現をめざすものです。ごみのリサイクルの現状や、レジ袋に多くの原油が使用されていること、紙コップ40個でトイレットペーパー1ロールにリサイクルできることなどのお話がありました。

続いて池端さんと澤さんから、サイコーのリサイクルの取り組みについてお話があり、古紙などをリサイクルし、ポイントも得られるシステムの紹介など参加者は関心をもって聞いていました。

他に紙分別のO×クイズを行い、楽しくリサイクルについて学びました。自分の周囲でできることの積み重ねが大きな成果に結びつき、やはりそのことが改善の道だと改めて感じた講座でした。



分別クイズで楽しく学習

## それでも使い続けますか? ～身近に存在するネオニコチノイド～

食部会で作製していたネオニコチノイド系農薬の危険性を呼びかける紙芝居が完成しました。

※一般社団法人アクト・ピوند・トラストから助成を受けて作製

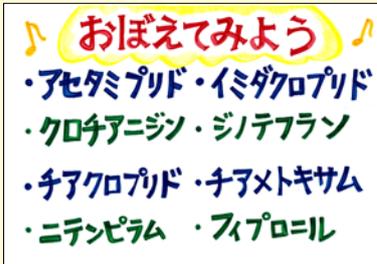
1作目はネオニコチノイド系農薬の特徴とどんな影響があるのかについて、2作目はお家の中やお庭など身の回りにあるネオニコチノイドについてのお話です。

ネオニコチノイドは農薬という形で多く出回っているため、一番影響を受けるのは農薬を使用する生産者です。しかし消費者の身近なところにも存在していて、気付かずに使っているケースが多いことも事実です。

今後さまざまなイベント等で上演し、ネオニコチノイド系農薬の問題を考えてもらえるよう活動していきます。紙芝居の貸出もしています。詳細はWEBサイトの食部会のページをご覧ください。



紙芝居完成!



ネオニコチノイドは成分名で表示されています!

## 編集後記

- 自宅パソコンが不調で買い替えに悩んでいます。安物は不安ですが高い物を買っても10年使えるわけではないし・・・。パソコンもスマホも便利ですが一度使うと完全にアリ地獄ですね。(小林)
- 今年は年に2回皆既月食がありますね! 今から夏が楽しみです♪どうか晴れますように。異常気象等で天候が悪くなると困るので、MELONでの活動も頑張りしたいと思います。(高橋)
- 皆様、お世話になりました! 2018年の桜の開花を待たずしてMELONを離れることになりました。またどこの酒場・・・ではなく、道端でお会いしましょう。(菅原)

## MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

|          |  |
|----------|--|
| 4/20 (金) | 4R 推進部会 例会   |
| 4/22 (日) | 「新緑祭」にブース出展  |
| 4/24 (火) | 食部会 例会   |
| 4/28 (土) | 水部会 例会   |
| 5/7 (月)  | 自然エネルギー等普及プロジェクト 例会                                  |
| 5/8 (火)  | みやぎ里山応援団 例会  |
| 5/9 (水)  | 仙臺農塾 Vol.6 第5回<br>「豆腐、その奥深き世界～一粒から生まれる、魅惑の大豆ワールド～」開催 |
| 5/12 (土) | 第15回生ごみ堆肥化&バラダ園芸講座<br>「キッチンでおしゃれにハーブを楽しもう♪」開催        |
| 5/29 (火) | MELONcafe 企画部 打合せ                                    |
| 6/3 (日)  | 広瀬川水質調査  |
| 6/9 (土)  | MELONcafe プチ講座<br>「空きビンをリメイク♪ガラスエッチング」開催             |
| 6/13 (水) | 仙臺農塾 Vol.6 第6回<br>「みんなでミョウガタケを味わおう♪」開催               |

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

### 〈会員状況〉

|             |
|-------------|
| 620名        |
| 法人 67       |
| 任意団体 10     |
| 個人 543      |
| 2017年3月8日現在 |

### ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。



### MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO<sub>2</sub>削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。

